

保健体育科学習指導案

指導者 山田政樹

1. 日 時 平成22年11月2日(火) 5校時
2. 学 級 1年3・4組 男子3組17名 4組18名 体育館
3. 主 題 球技 「バレーボール」
4. 主題について

(1) 題材(教材)について

球技は、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競い合うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

中学校学習指導要領解説によると、「中学校第1学年及び第2学年では勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにすること」が球技における技能の目標となっている。

中学校1学年の「ネット型」においては

- ①ラリーが続けられること
- ②励まし合う雰囲気を作ること
- ③声を掛け合いながら互いにカバーすること

が大切と考える。

バレーボールはネットをはさんで対した二つのチームがサービス、パス、トス、スパイク、ブロック、レシーブなどの攻防を展開する集団的スポーツである。パスをつないでスパイクで得点を得るなど、それぞれが役割を自覚し協力することで成果が上がり、達成感や満足感の得られやすい種目である。ラリーが続けられるようにする為にボール、場、教具の工夫をしながら授業を展開し、意欲の向上を図りたい。

(2) 生徒について

中学校に入学して半年が過ぎ、学級の仲間とのコミュニケーションは徐々に取れてきている。授業において教科委員の指示を聞きながら協力して活動し、成長してきている点である。運動が好きな生徒は96%、球技が好きな生徒は93%である。バレーボールが好きな生徒は82%、バレーボールに対するイメージはボールを落とさない、打って点を取る、手が痛そう、怖い、などが多かった。手が痛そう、怖いなどのイメージをどのような工夫により取り除いていくかが重要であると考えられる。

(3) 指導について

協力して活動する楽しさを学習できる価値を持った題材を使って、互いに声をかけてコミュニケーションを取り合いながらカバーし合ってラリーが続けられるように工夫したい。また、互いに意思疎通を通わせることがまだ未熟であるので、様々なグループ形態や活動内容により、互いに成長できるような関係を身につけさせ、楽しく取り組ませたい。

5. 指導と評価の計画（別紙）

6. 本時について

（1）本時の目標

みんなで声を掛け合い、ラリーを続ける

（2）本時の評価規準

関心・意欲・態度	互いに協力して楽しみを味わえるように練習をすることができる。
運動の技能	パスを狙った方向に出すことができる。

7. 本時指導の構想

（1）指導構想

①導入について

2人組でのドリルを通じて互いに楽しみながら声をかけ、励まし合う中で意欲を高め、学習課題を解決するための土台となる体の使い方を確認できるようにとりくませる。また、指先や腕がボールに触れる時の感覚づくりをさせる。

②展開場面について

タスクゲームによりパスする相手を意識しておこなわせるようにし、3回目で相手コートに返させたい。その為にはなるべく2人目がオーバーハンドパスでトスをネットにある程度近いところに上げることの大切さに気付かせる。また、ラリーをつづける為にはボールの落下点に入る事、仲間がいるあたりにパスを出す事、ある程度パスを高く上げること、仲間のパスが上手いかなくても拾ってカバーしてあげる事などに気付かせ、協力して取り組ませたい。

③まとめについて

タスクゲームの結果からチームの成果を認め合い、課題を再度検討する。話し合う場面では司会を立て、意見発表、交流、まとめという流れで取り組ませる。

（2）よく考え 伝え合う活動について

よく考え、伝え合う活動をタスクゲームのあいだとまとめの学習の計2回行う。

(3) 本時の展開

段階	過程	学 習 活 動	「よく考え 伝え合う活動」を通して、 ねらい に迫るための手だて	
			評価の視点<方法>	指導上の留意点【資料・教具等】
導入 10分	課題づくり	1. あいさつをする。 2. 体操をする。 3. ドリルサーキットをする。 2人組で4カ所をローテーション ①二人組でオーバー ②ネットを挟んでオーバー ③二人組でワンバウンドアンダー ④ネットを挟んでアンダー 4. 学習課題を把握する。	1. <関心・意欲・態度> 声をそろえてあいさつとおじぎができる。 2. <関心・意欲・態度> 教科委員の号令のもとに体操ができる。 3. <技能> 狙ってパスを出すことができる。	3. パスを出したい方向に体を向けることを意識させる。 【ラジカセ】でBGMをかける。 4. <u>ラリーについてのイメージを確認する。</u>
		チームで協力してラリーをつづけよう		
展開	課題追求	5. 3人パスをする。 ・アンダーハンドパスかオーバーハンドパスを使う。 6. タスクゲーム①をする。 3対3でのビーチラリー（ワンバウンド可） ・必ず3回で返す。 ・サーブは両手で下から投げる。 ・4か所で行う。 ・5点マッチで行う。 ・コートはバドミントンコート。 ・ゲームがないチームは得点係、パスの（イチ・ニイ・サン）を声に出して数える係をする。 7. タスクゲーム①の振り返りをする。 ・3人（1チーム）で話し合い、振り返りをする。	5. <技能> 3人でパスを多くつづけることができる。 6. <技能> 3人でカバーして攻撃と守備をすることができる。 <思考・判断> 誰がボールを拾いに行くか判断し、声をかけ、動くことができる。 オーバーハンドパスとアンダーハンドパスの使い分けができる。 7. <思考・判断> ラリーを続けるためにはどんなパスが必要かを考え、発表しあうことができる。	5. 両手を使ってパスをさせる。 6-1 【ミニコーン】でコートを作る。 6-2 必ず3回で返させる。 6-3 ゲームがないチームは得点係を行う。 6-4 ゲームがないチームはパスをするたびに（イチ・ニイ・サン）と声に出して数えさせる。 7-1 <u>ラリーをつなげるために必要なことを確認させる。</u> ・ <u>チームメイトがとりやすいパスを言わせる。</u> ・ <u>オーバーハンドパスとアンダーハ</u>

35分	課題解決	<p>8. タスクゲーム②をする。</p> <p>3対3でのビーチラリー(ワンパウンド不可)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ず3回で返す。 ・サーブは両手で下から投げる。 ・4か所で行う。 ・5点マッチで行う。 ・コートはバドミントンコート。 ・ゲームがないチームは得点係、パスの(イチ・ニイ・サン)を声に出して数える係をする。 	<p>8. <技能></p> <p>相手からのチャンスボールをセッターに返し攻撃につなげることができる。</p> <p><思考・判断></p> <p>より良い攻撃につなげる為にはどんなレシーブ、トスが必要か考えることができる。</p>	<p><u>ンドパスを使い分ける判断基準を</u> <u>言わせる。</u></p> <p><u>・名前を呼んでパスを出すことの大切さを</u> <u>言わせる。</u></p> <p>7-2 各チームでセッターを決めさせる。【ビブス】</p> <p>8-1 【ミニコーン】でコートをつくる。</p> <p>8-2 必ず3回で返させる。</p> <p>8-3 ゲームがないチームは得点係を行う。</p> <p>8-4 ゲームがないチームはパスをするたびに(イチ・ニイ・サン)と声を出して数えさせる。</p>
5分	まとめ	<p>9. 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6人(2チーム)で話し合い、本時のまとめをする。 <p>10. 次時の確認をし、あいさつをする。</p>	<p>9. <思考・判断></p> <p>本時の課題について達成できたかどうかを振り返り、成果と課題を把握することができる。</p>	<p>9. <u>6人(2チーム)で話し合い、互いのチームのまとめを聞き、感想書</u> <u>かせる。【学習シート】に記入し、</u> <u>発表させる。</u></p>